

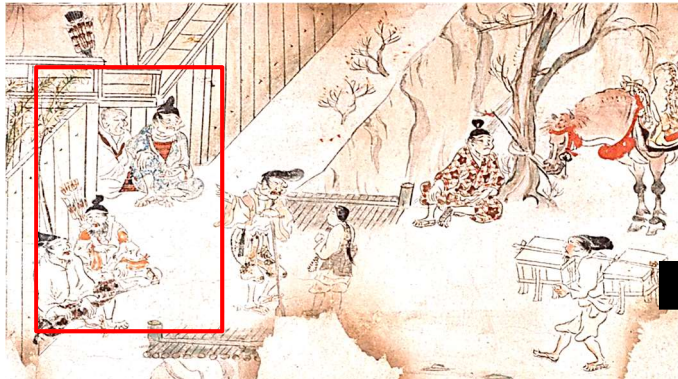
2年歴史 EX03

第三章 中世の日本 武士の台頭と鎌倉幕府
武士はどのような暮らしをしていたのだろうか？

中世の日本の単元では「武士」が台頭し、力をつけてきます。今回は「史料の比較」をしながら、貴族と武士の暮らしの様子の違いについて読み取り、まとめていきましょう。

1) 武士について

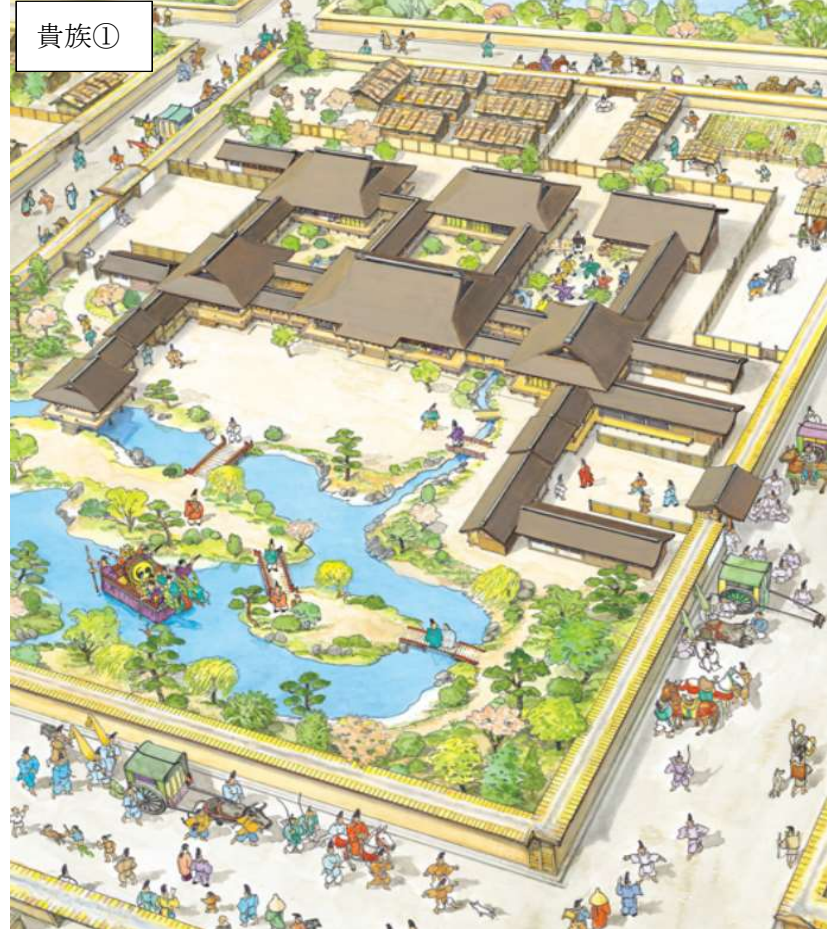
▼武士はどんな仕事をしていたのでしょうか。下の絵巻から取れることを書いてみましょう。



(出典「粉河寺縁起絵巻」教科書p66)

2) 貴族と武士の暮らしの違い

▼左の資料は貴族の暮らし、右の資料は武士の暮らしの様子です。



貴族①



貴族②

貴族③

① 貴族の生活
② 貴族の正装
女性：女房装束(十二単)、男性：茶帯を簡用しました。

③ 貴族の食事
宴会での食事の再現です。①焼餅 ②スープ ③麦縄(粟縄の元祖) ④味噌 ⑤塩 ⑥蘇(乳製品) ←p.28 ⑦酒 ⑧白米 ⑨地のうにあえ ⑩里芋の煮物 ⑪心太子 ⑫菓物

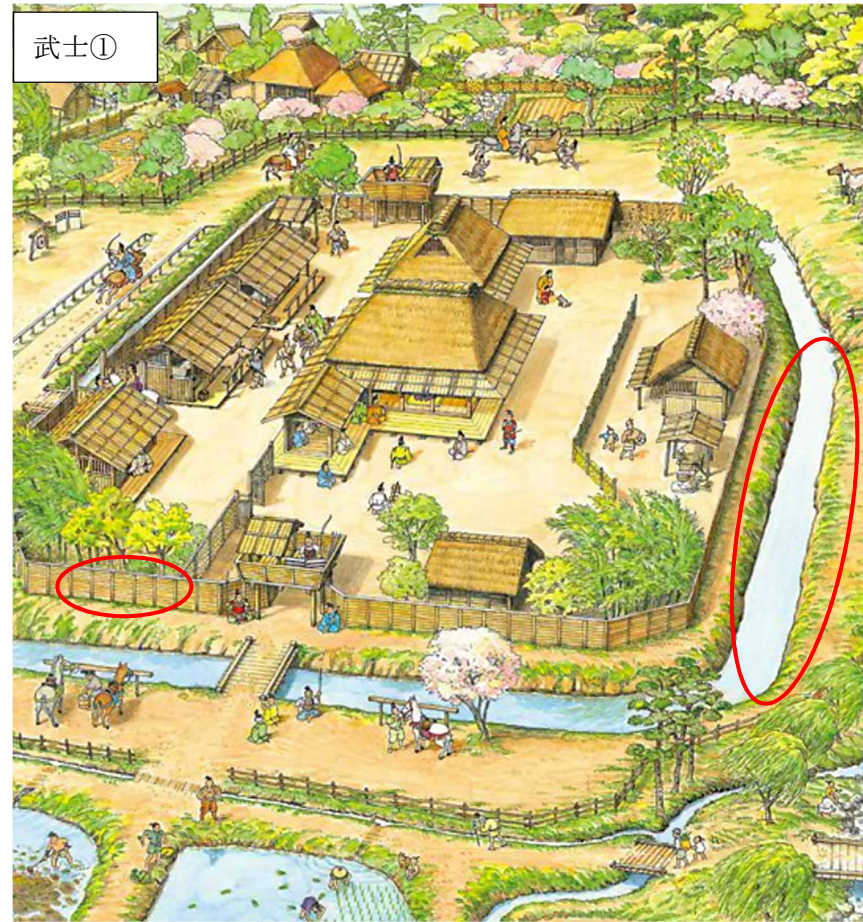
十二単の重さは約16kg。

阿日市文化資料館蔵

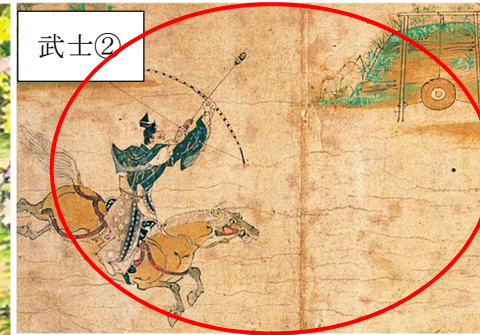
(まとめ)

武士はどのような仕事を、どんな暮らしをしていたのだろうか。教科書や資料集等を参考にして、平安時代の貴族の様子と比べて簡単に説明してみよう。

(例) 武士は貴族に仕え、屋敷の警備をし、争いなどで力を発揮した。また武士は貴族の豪華な暮らしと違い、弓馬の道という心構えを持ち、日ごろから武芸に励み、戦いのときは惣領を中心に一族でまとまって行動した。



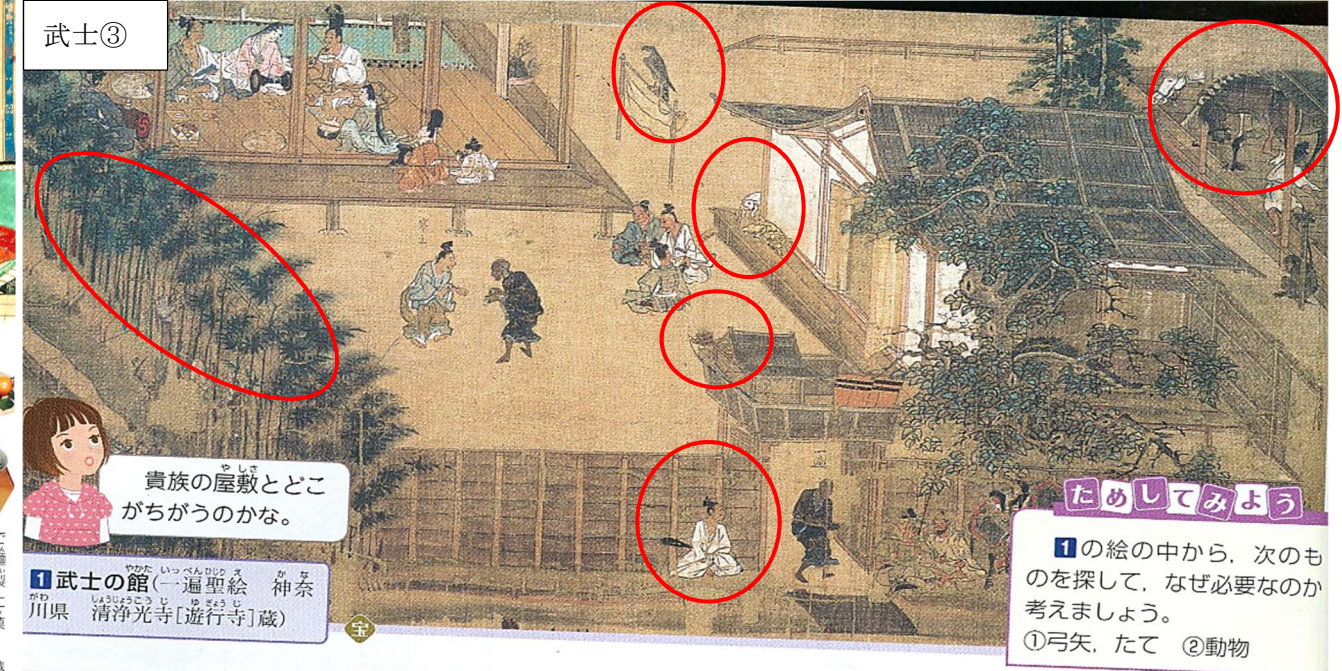
武士①



武士②

(用語)
「弓馬の道」：武士がはげむべき方面。武芸。弓また、武士が守るべき道徳。武士道のこと。

(作業) ※解答例です
・資料：武士①、武士③から、武士の館に見られる特徴的なところを○で囲んでみよう
・囲んだ○の部分にどんな特徴があるか言葉で説明してみよう



武士③

貴族の屋敷とどこがちがうのかな。
1 武士の館(一遍聖絵 神奈川県 清浄光寺[遊行寺]蔵)

ためしてみよう
1の絵の中から、次のものを探して、なぜ必要なのか考えよう。
①弓矢、たて ②動物